

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		OZデイわかやま				公表日	2025年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	・なるべくものを少なくしてスペースを広くしている。	・利用者複数の場合はできていない。 ・バギー車椅子等を利用する利用者様が多く、狭さを感じる。物の配置を再考しては…と思う。 ・定員がマックスになった場合、リスクがあると思う。 ・現在利用人数が少ないため大丈夫であるが、今後人数が増えたとき移転を考える必要がある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・十分に考えられたシフト体制だと思う。 ・現在は利用人数が少ないこともあり、利用者一人に対しスタッフ一人から三人配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	7	3	・スロープを用いたり、移動の際は気をつけるようにしている。 ・構造化までできていないが見てわかる工夫やカーテン、間仕切りにより個別の対応ができるよう工夫している。	・一般世帯向けの住宅なので出入り口が狭いのが難。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	9	1	・時間を決め、換気をするよう工夫している。 ・セラ水を使用し、毎日の拭き掃除や一時間に一回の散布で清潔は保持できている。 ・毎日清潔を保つため清掃をしている。 ・物を最小限にし、活動に合わせカーテンや間仕切りを使っている。	・利用者が複数の場合は狭い。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	5	5	・個別の場所はないが、カーテンや間仕切りを使って工夫している。	・建物の構造上、個別の部屋を用意できない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に	6	3		・毎月のミーティングで振り返りを行っているが、目標設定を職員全員で行うことまでできていない。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設	10	0	・保護者様からの意見等はその都度報告、対策をしている。 ・昨年度のアンケートをもとに振り返りを行い、支援内容や研修、イベントに生かしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善	10	0	・月一回のMTGで意見を出し合える機会がある。 ・ミーティングや食事会等で職員の意見を把握する機会を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげてい	3	6		・把握していない。 ・第三者による外部評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等	9	1	・定期的に研修を受けることができる。 ・毎月予定に則り研修を行っている。外部研修の案内もLINEで行ったり、事業所内に掲示している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	・月ごとにプログラムを決めている。 ・作成しているがまだ公表に至っていない。			

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の	10	0	・アセスメントを適切に行い、半年に一度の支援会議は必ず行い計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理	10	0	・できる限りの職員が集まり、会議を行い意見を出し合っている。その後、欠席職員にも周知している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支	10	0	・支援後、計画に沿った支援ができたか振り返っている。 ・計画に沿った支援を行うことができるようファイルに入れ、毎回支援スペースに持っていきすぐに見ることができるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー	7	1	・行っているがまだ改善すべき点がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ	7	1		・ガイドラインを見て設定しているが、重度心身障がい児のためなかなか難しい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・プログラム委員会を発足している。 ・毎月個々に合わせ次月のプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・プログラム委員会を作り、話し合いの場を設けている。 ・様々な活動を取り入れるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	7	1	・個々のできることに合わせての支援とみんなでできることを組み合わせている。 時には地域の活動の見学や人々との触れ合いを取り入れた活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	5	3	・支援前の打ち合わせができないときもあるが、すぐに対応できるように壁に内容を貼っている。 ・ホワイトボードを使い可視化しながら打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	3	5	・その日には送迎があるため全員の振り返りは行いが、後日に会議やノート等で共有している。	・できていないときもある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	9	0	・必ず記録をし、連絡ノートを利用している。 ・記録は行っている。	支援の検証、改善にまではつなげていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	7	2	・半年に一回以上は行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組	8	0	・適宜行えていると思う。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	9	0	・会話で意思疎通できない利用者にはカードなどを用いて目線などで意思を確認している。 ・話ができないがカードや身振りで選択できるよう工夫している。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	8	0	・会議はあまりないが担当者の方とは情報共有しあっている。		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、	8	0	・地域の学生や自治体の方々と利用者の方々とで交流するイベントを行った。 ・学校、リハビリ、等に訪問、見学させていただき、支援内容の参考にしている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時	8	0	・学校からの知らせを受け取り、こちらの予定、行事なども知らせている。 ・学校とは密に連絡を取り、互いに情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達	4	4		・就学前の子供が利用者にいない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		・まだ卒業した者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・スーパーバイズはないが研修の機会は行っている。 ・訓練施設に訪問見学に行き支援内容を共有していただいている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・デイで行うイベントに地域の生徒に参加してもらった。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	・児童発達支援管理者が積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・LINEやインスタグラムを利用して日々の様子を発信している。 ・送迎時やLINEで保護者と密に連絡を取り合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・防災訓練の際、保護者も招き、避難時の意見や備えておくもの等アドバイスをいただいた。	・ペアレントトレーニングはまだ機会を設けていない。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に時間をかけお伝えしている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者と看護師が同席して利用者家族と面談をしている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・契約時や支援内容変更時に説明を行い同意を得ている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・送迎時やLINE等で相談に応じさせていただいている。	・今のところ面談や必要な助言を行うには至っていないが、定期的に面談のお誘いをして良いかもしれない。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ	4	4		・昨年度ママカフェを開催したが利用者がいなかったが、今度テーマを決めて保護者会を積極的に行っていきたい。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・契約時に苦情受付窓口の説明をしている。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ	9	0	・LINEやインスタグラムを利用している。 ・毎月通信を発行し、利用者や支援学校に通う生徒へ配布している。SNSも定期的に投稿している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・職員は誓約書を提出し、個人情報の書類等は施錠できるところに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・カードやiPadを使用しなるべく意思疎通できるよう工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・イベントの際は自治会の方々に協力を得、地域の方々の参加を促していただいている。 ・クリスマス会で地域の中学生、地域の住民を招待した。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	9	1	・それぞれの委員会を創設し、研修、訓練を定期的に行っている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え	9	1	・業務継続計画(BCP)を策定し、定期的に研修、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	10	0	・契約時や変更があった時に聞き取りを行い、お薬手帳をコピーしたり記録をとったりしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応	7	2	・入所時にアレルギーの有無を確認。保護者の用意した食事をいただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	10	0	・年度初めに作成し、研修計画を立てている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	10	0	・ヒヤリハットが起きた時点で、チャットワークやノートで共有し会議で再発防止を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	9	0	・適宜研修を行い、報告書、感想を提出している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	7	1	・ミーティングで話し合い、身体拘束の条件を確認しあった。		